

令和5年度 国民体育大会・東北総合体育大会選手選考基準

(一財) 秋田陸上競技協会強化委員会

1 国民体育大会

県選手権・県体終了後、以下により選考をする。

(1) 選考順位

- ① 県選手権・県体に参加していること。
- ② 国体選考標準記録A記録・B記録突破者（2023年1月1日以降の公認記録）で予選会に出場している者。
- ③ 全国大会入賞者（日本選手権入賞者等）で予選会に出場している者。
- ④ 国体選考標準記録C記録を突破し、当該種目において県選手権・県体最上位者参加人数の枠に空きがある場合、以下により選考する。
- ⑤ 将来的に有望視される選手（以下は協議とする）
- ⑥ 一次選考で選手選考に至らない種目については二次選考を行うこともある。

●予選会免除対象者の扱いについて

成年種目は予選会免除対象者を優先して選手選考を行う。

(2) 選考対象試合

一次	二次
2023年1月1日から7月2日までの公認競技会 なお、予選会は次の大会とする 県選手権・県体 県高校総体	県中学校総体（予選会） 県中学通信陸上 全国高校総体 東北中学陸上 国際大会等

(3) 選考委員

強化委員長、強化副委員長、ブロック主任コーチ

(4) 秋田県予選会が中止となった場合の措置

2023年4月1日から国民スポーツ大会申し込み締め切りまでに開催された、(一財)秋田陸上競技協会の公認競技会をすべて予選会とみなす。

(5) 県をまたぐ選手の出場制限が発生した場合の措置

(一財)秋田陸上競技協会の推薦をもって選考対象とする。その際は、2023年1月1日からの公認記録を参考とする。

2 東北総合体育大会（東北選手権大会）

- 1) 大会要項により、各種目3名（リレーは2チーム）まで出場できる。ただし、1人2種目まで（リレーは除く）とする。
- 2) 県選手権・県体の各種目1位から3位の選手を選考する。
- 3) 出場辞退者が出た種目については6位入賞者までと、国体少年種目優勝者を対象に補充を行うが、記録等を参考にして強化委員会で判断する。ただし、国体少年種目であっても東北総合体育大会と規格が異なる種目は補充対象種目としない。
- 4) 旅費は県から補助金が支給されるが、不足分は参加者全員に負担してもらう。
- 5) 4×100mRは男女とも、単独2チーム（県選手権上位）の出場とする。4×400mRは単独2チーム（県選手権上位）とする。（県選手権でレースに参加した4名を必ずメンバーとしてエントリーすること）